

募集：「和歌山」を題材とした学生の自主的な活動や研究に対する費用支援

和歌山大学 平成 26 年度教育改革推進プロジェクト採択課題
「オルタナティブな地域学を実践する学生づくり」プロジェクト

学内の教員有志、北海道大学・和歌山研究林（和歌山県東牟婁郡古座川町）が協力した「オルタナティブな地域学を実践する学生づくり」という事業を「和歌山大学 平成 26 年度教育改革推進プロジェクト」に応募しましたところ、総額 130 万円にて採択されました。これは、平成 22～24 年度の「現物教育プロジェクト」、平成 25 年度の「学生の興味を地域に向ける学術情報冊子の作成プロジェクト」を発展させたものです。なお、「現物教育プロジェクト」では、3 年間で 19 件、延べ 400 名を越える学生提案を支援し、地域社会から歓迎される成果を得ました。

今回の募集は、「せっかく和歌山大に入学したのだから、ダイナミックな自然や世界遺産を保有する和歌山において実際に現物に触れることのできる演習や研究を行いたい」という学生の思いを実現させようという目的をもって、学生（指導教員）に対して活動費用を支援するものです。そのような希望や構想を持つ学生や教員の提案を全学（学部、大学院、センター）から募集します。和歌山大学が和歌山県にあるという「地の利」を活かし、和歌山のフィールドを学生が活用しやすくすることで、学生の知的好奇心や学習意欲、地域愛などが喚起されることを期待します。学生諸君は今年度 4 月のガイダンス時に配布された「和歌山を科学するためのネタ本」を参照され、あるいは指導教員（になってくれそうな教員も含む）と相談し、提案内容を具体化させて下さい。もしも指導教員が思いつかない場合は、文末に示したプロジェクトメンバーに相談してみてください。コーディネートします。また、教職員の皆さんは指導学生や講義受講生などへのご周知をよろしくお願いいたします。

1. 募集の内容：「和歌山」を題材とした学生研究、演習の支援

学生または教員、職員からの提案を募集します。和歌山に実際に行って展開する学生の研究や演習を支援します。内容は、自然系、社会系、人文系のいずれでも OK です。卒論や大学院での研究活動を和歌山で実現する、あるいは、和歌山を深く知り、学ぶ演習を支援します。1 件の申請上限額は 20 万円、数件の支援を目指します。採択された提案には、研究に必要な物品（消耗品レベル）の購入費、交通費、その他の費用を指導教員に配分します。現地へ行く際には、指導教員の引率を前提とします。なお、採択された提案には、年度末までに報告書の提出を義務づけます。予算に限度があるので、応募された課題の全てを、あるいは全額の費用負担はできないかも知れませんが、応募書類を審査し、支援の可否と金額を決定します。

審査では、学生の熱意、実現可能性、内容レベル（新規性、独自性、先々の研究や地域活動への発展性、面白みなど）、外部へ公表するための計画を立てられているか？、地域に喜ばれそうな提案かどうか（話題性など）、などを総合的にみて評価します。審査者は、必ずしも応募されたテーマの専門家ではないですが、「和歌山」というテーマで審査者を説得できた提案を優先して支援します。特に、今年度 4 月のガイダンス時に配布された「和歌山を科学するためのネタ本」に記載された内容に関わる提案を最優先して支援します。なお、その「ネタ本」を無くされた人は、以下をご参照下さい（http://www.wakayama-u.ac.jp/~nakat/Up_DATA/files/neta/neta_2s.pdf）。

2. 応募の方法とスケジュール

ワープロソフトなどで作成した応募書類の電子ファイルを電子メールに添付し、文末に示した応募先にまで「応募する学生（および代表）」自身が送付してください。その際、電子メールの題名は「和歌山・学生研究/活動」としてください。〆切は 7 月 22 日（火曜）、17:00とします。応募ファイルの様式は問いませんが、全体で A4 用紙 4 ページ以内で、以下の「応募ファイル」に示した要項にしたがって作成して下さい。応募ファイル内での表現に

凝るなどの工夫は応募者の熱意を示す態度として歓迎します。なお、応募ファイルに記載されている内容は審査と事務的な連絡以外の目的には使用いたしません。

★応募ファイル（様式は任意、全体で4ページ以内）に必ず含める項目

- 1) 応募課題のタイトル
- 2) 応募者（代表者）の氏名（学部、学科等、学籍番号）
応募者（代表者）の連絡先（電話番号、メールアドレス：最も速く連絡が取れるもの）
団体での応募の際には、団体の名称（愛称でも可）と全員の氏名（学部、学科等、学籍番号）
- 3) 指導教員の氏名（学部、学科、センターなど）、複数でも可
指導教員が見あたらない場合は、事前にメンバー（末尾参照）に相談してください
- 4) 計画の目的、目標、概要（いつ、どこで、誰が、何を、どのように、どうする・・・などを明確に）
計画の「売り」などを、上記の審査方針に沿うよう「思う存分」表現してください。
- 5) 安全管理に関する方針、その裏付けなど
- 6) 希望する予算額（指導教員と相談し和歌山大学の規定に沿って積算根拠を示すこと）

★スケジュール

- 1) 募集の〆切：7月22日（火曜）17:00までに、電子メールにて申請（応募書類を添付）
- 2) 結果（支援の可否、金額）は7月下旬頃までに、応募者と指導教員に電子メールでお知らせします。
審査する者の態度として当然のことですが、結果に至った理由は個別にご説明させていただきます。
- 3) 事業の開始：8月上旬には予算を指導教員に配分できることを目指します。
- 4) 報告書の提出時期などのスケジュールは、採択課題ごとに後日、お知らせします。

3. 学内説明ゼミ（事前相談会）の開催

これまでの成果や今後の展開について、プロジェクト説明のゼミ（事前相談会）を開催します。それだけでなく、プロジェクト参加教員の「和歌山ネタ」についての面白い話題提供も行います。ふるってご参加され、それを参考に申請される学生が増えることを待っています。

- 第1回目ゼミ：7月1日（火曜）16:30～ シス工B棟1F アトリウム
- 第2回目ゼミ：7月8日（木曜）16:30～ シス工B棟1F アトリウム

4. 応募/問い合わせ先

システム工学部・教員 中島敦司（tel：073-457-8378 E-mail：nakat@sys.wakayama-u.ac.jp）

プロジェクトメンバー：地域支援創造機構（福井大、湯崎真梨子）、キャリアセンター（木村亮介、山崎泉）、教育学部（岩野清美、此松昌彦、阿部英之助）、経済学部（中島正博、藤永博）、システム工学部（原 祐二）、観光学部（尾久土正己）、宇宙教育研究所（秋山演亮）、北大・和歌山研究林（揚妻直樹）